Panasonic

取扱説明書

小型ビューアー

品番 LF-PJ525H

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（4 ～ 5ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

本機をHDMI機器に接続し正しくお使いただくためには、以下の操作を行う必要があります。

正しくお使いいただくために（準　備）	**本機を正しくご使用いただくための説明（本書および別紙）をよくお読みください。** **●機器への接続は、本機付属のUSB、HDMIケーブル以外使用しないでください。** **●機器への接続は確実に行ってください。** （本機や接続機器の故障の原因となる場合があります。）

対応機器の環境について

●本機を使用するには、HDMIに対応した出力機器が必要です。
●本機をパソコン等で使用するには、下記に準じた環境が必要です。

対応パソコン	HDMI、USB（2.0以上）ポートを搭載したWindowsパソコン
対応OS※1	●Windows XP（Home Edition / Professional） ●Windows 7 / Windows 7x64 Edition（Ultimate / Professional / Home Premium） ●Windows 8 / Windows 8 x64 Edition（Pro / Enterprise）
CPU/GPU	1.6 GHz（Single Core）以上のCPUを推奨 （動画などを投影するには、動画再生に適したGPUなどが必要です。）
メモリー	各OSの推奨メモリー容量以上
ディスプレイ表示	VGA（640 × 480 ドット）/ 16ビット色　以上

●本機をiPad/iPhoneで使用するには、下記のバージョン以降の機種となります。

iPad※2	iPad（第1世代以降）、iPad mini
iPhone※2	iPhone 4、iPhone 4S、iPhone 5

※1 Windows XPについては、Service Pack 3以上が必要です。Windows 7については、Service Pack 1以上が必要です。Windows Vista、Windows RTには対応していません。

※2 iPhone 4、第1世代のiPadは動画や静止画像の投影のみ可能です。
本機との接続には、機器に合ったApple社のAVアダプタが必要です。

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください

はじめに

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
正しくお使いいただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
商標などについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
本機の特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
付属品のご確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
本書の表記について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

準　備

お使いいただく前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
各部のなまえとはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

使　う

使　う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
　本機の基本動作　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
　インジケーター機能について　・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
　機器接続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
パソコンで使用する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
　接続する　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
　表示モードの設定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
　音声出力の設定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
　表示モードの変更　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
　表示解像度の変更　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

必要なとき

お手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
故障かな!?と思ったら　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
こんな疑問や質問があったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
用語解説／補足説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
保証とアフターサービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
さくいん・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 注意

分解や改造をしない

分解禁止

異物の混入などにより火災の原因になることがあります。

使用中は投影レンズをのぞかない

禁止

投影レンズからは、強い光が出ます。中を直接のぞくと目を痛める原因になることがあります。

スポンジマットなどの柔らかい面の上で使用しない

禁止

内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

使用中は投影光を人に向けない

禁止

投影レンズからは、強い光が出ます。投影光を人に向けると目を痛める原因になることがあります。

⚠ 注意

本機の上に物を載せない

禁止

本機上部には吸気孔があります。吸気孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。

付属のHDMI、USB（給電用）ケーブルを使用する

付属品以外を使用すると、本機やパソコンなどの故障の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※1の原因になることがあります。

異常・故障時はHDMI、USB（給電用）ケーブルを抜く

そのまま使用すると、火災の原因になることがあります。

- 煙が出ている
- 異臭がする
- 異常に熱い
- 内部に異物が入った
- 破損した

すぐに使用を中止し、販売店へご相談ください。

長時間通風孔（排気）からの温風にあたらない

禁止

低温やけど※1の原因になることがあります。
また、通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、やけどなどの原因になります。

※1 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けているとき）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

正しくお使いいただくために

使用／保管に適した環境

■**平らで衝撃、振動、落下のおそれがない安定した場所**
落下すると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。

■**使用時の環境**
温度：5 ℃ ～ 35 ℃
湿度：20 % RH ～ 80 % RH
（結露なきこと）

■**保管時の環境**
温度：－10 ℃ ～ 50 ℃
湿度：20 % RH ～ 80 % RH
（結露なきこと）
上記の範囲内であっても、本機の近くでの喫煙や、油を使用する場所、ほこりの多い場所、ノートパソコンの排気口、暖房器や加湿器などの近くでのご使用は、製品の故障や劣化などにより製品寿命が短くなるおそれがあります。

■**熱のこもらない環境**
- 保温性の高いところ（ゴムやスポンジマット、布団の上など）での使用は避け、スチール製の事務机など放熱性が優れた場所でお使いください。
- 放熱の妨げとなりますので、タオルやソフトケースなどで覆わずにお使いください。

HDMI機器への接続

HDMI機器、本機やHDMI、USBケーブルなどの故障を防ぐために、次の点に注意してください。

■**コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続してください。**

■**接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認してください。**

■**ケーブルの抜き挿しはプラグを持って行い、ケーブルを強く引っ張ったりしないでください。**

持ち運ぶとき

本機の故障などを防ぐため、次の点に注意してください。

■**スタンドやカバーは必ず閉じてください。**

■**投影レンズには傷や汚れが付かないようにしてください。**

■**ケーブルや三脚を取り付けたまま持ち運んだりしないでください。**

三脚で使用されるとき

■**本機を三脚に取り付けて使用される場合は、本機付属の三脚用スペーサーを本機と三脚の間に入れてください。**
取り付けネジが長い場合、無理に締めると故障や破損のおそれがあります。

商標などについて

- Microsoftとそのロゴ、Windows、Windowsロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- DLP、DLPメダリオンロゴはテキサス・インスツルメンツ社の登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Defi nition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Apple、Appleロゴ、iPadは、米国その他で登録されたApple Inc の商標です。
- 商標「iPhone」は、アイホン株式会社の許諾を受けApple Inc.で使用されています。
- その他の記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。以降各社の、登録商標または商標の記号表記は省略します。

- 本書の記載内容は予告なしに変更される場合があります。

Windows XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。
（以下 Windows XP）

Windows 7の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 Ultimate operating system、Microsoft® Windows® 7 Professional operating system またはMicrosoft® Windows® 7 Premium operating systemです。
（以下 Windows 7）

Windows 8 の正式名称は、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 またはMicrosoft® Windows® 8 Enterpriseです。
（以下 Windows 8）

本機の特長

■ ワイシャツの胸ポケットにも収まる軽量コンパクト設計

- 重さ　110 g
- 大きさ　102（W）×60（L）×22（H）mm

■ 実用的なレベルの画像サイズと明るさを実現

- 画像サイズ　10 ～ 60 inch（インチ）
- 投影距離　0.37 ～ 2.22 m
- 対応解像度　640×480 ～ 1920×1080 ドット
- 明るさ　最大50ルーメン（3段階調節）
- コントラスト　1000：1

■ USBバスパワー動作で外部電源不要

- 給電用USBケーブルでUSBバスパワー動作（USBは給電専用）
  （パソコンのUSB電源供給能力によっては、正常に動作しない場合があります。）

■ HDMIインターフェースの採用で接続すればすぐ使える

- HDMIに対応（すべてのHDMI機器での動作を保障するものではありません。）
  （本機はオーディオ出力には対応していません。オーディオ出力は接続機器側での対応となります。）

■ あると便利な照明モードの搭載

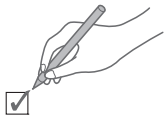
- 三段階の明るさ切り替えに対応（HDMIに信号がない場合のみ対応となります。）

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

付属品のご確認

ご使用いただくまえに、次のものがそろっているか確認してください。
万一不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの
販売店までご連絡ください。



付属品

□給電用 USBケーブル
- Type A/Type mini B
- 長さ80 cm

（品番：PKWAPSJ25H）

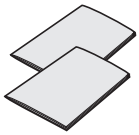
□三脚用スペーサー
（数量2枚）

（品番：PKZSPSJ25U）

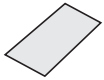
□HDMIケーブル
- Type A/Type D
- 長さ80 cm

（品番：PKWLPSJ25H）

取扱説明書



□保証書



●イラストは現物と一部異なる場合があります。
●付属品の内容、本書の記載内容は予告なく変更される場合があります。

推奨品のご案内

USBモバイル電源
- USB出力 DC5 V 1.5 A
- 電池容量 5,400 mAh

40ルーメン以下でご使用ください。
（品番：QE-QL201）

推奨品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic

Pana Sense

PC http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯

本書の表記について

本書では、特にことわり書きのない場合、以下のように表記しています。

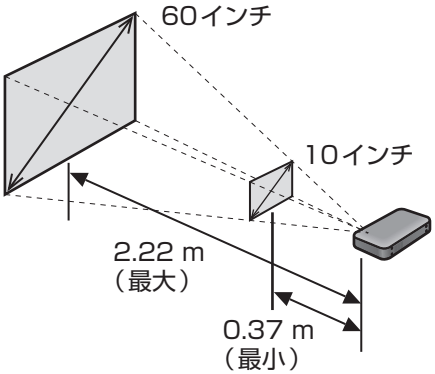
■ ことわりがない限りWindows XP、Windows 7、Windows 8を総称して「Windows」と表記し、Windows 7の操作表現で記載しています。
■ 手順や画面表示は、「コンピューターの管理者の権限」でログオンした場合の内容で説明しています。標準ユーザーのアカウントで実行できない場合は、「コンピューターの管理者の権限」でログオンして操作してください。
■ 専用または給電用 USBケーブルを総称して「USBケーブル」と表記しています。
■ アイコン、ボタン、フォルダ などにポインタを合わせ、マウスの左ボタンを押して離す操作を「クリック」、クリックを素早く２回行うことを「ダブルクリック」と表記しています。
■ マウスの右ボタンを押して離す操作を「右クリック」と表記しています。
■ アイコン、フォルダなどにポインタを合わせ、マウスのボタンを押したまま移動し、目的の位置で離す操作を、「ドラッグ＆ドロップ」と表記しています。
■ アイコン、フォルダなどにポインタを合わせ、マウスのボタンを押したまま移動する操作を、「ドラッグ」と表記しています。
■ アイコンや画像などにポインタを合わせてクリックしシステム認識状態にすることを「選択する」または、「選ぶ」と表記しています。
■ ダイアログボックスなどのチェックボックス、オプションボタン（ラジオボタン）にポインタを合わせてクリックし、チェックされた状態にすることを「チェックする」、「チェックを付ける」と表記し、チェックされていない状態にすることを「クリアする」または、「チェックを外す」と表記しています。
■ 複数のキーを押して操作することを、［Oキー］＋［Xキー］または、以下のような図記号で表記しています。

表記例： CTRL ＋ V

■ 守っていただきたい内容は「お願い」、気をつけていただきたい内容は「お知らせ」として表記しています。

- 本書の内容に関しては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

お使いいただく前に

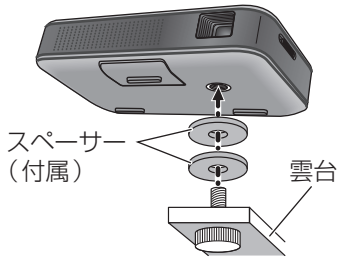


設置と投影サイズ

本機での投影サイズと設置距離は、左図のようになります。設置は保温性の高いところ（ゴムやスポンジマット、布団の上など）での使用は避け、スチール製の事務机など放熱性が優れた、平らで安定した場所でお使いください。

三脚に取り付ける場合

本機と三脚の雲台の間に、付属のスペーサーを入れ、雲台に付いている固定ネジを回して、しっかり固定してください。
固定ネジの長さに合わせてスペーサーの枚数を変えてください。



文字がにじんだりぼやける場合

表示画面の解像度が本機のDLPの解像度よりも大きくなると、自動的に本機のDLPの解像度に合うように画面が変更されて表示されます。このため、文字がにじんだりぼやけるようになりますが、故障ではありません。文字をにじんだりぼやけずに表示させたいときは、パソコンの表示解像度を変更してお試しください。
（☞ 28ページ）

準備

重要なお知らせ

- お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、その他人命にかかわる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療診断目的などで画像を表示することを意図しておりません。

廃棄処理について

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
この記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

各部のなまえとはたらき

前面／天面／右側面

■ 各ボタンを押すことで本機の動作モードを切り替えます。

電源ボタン

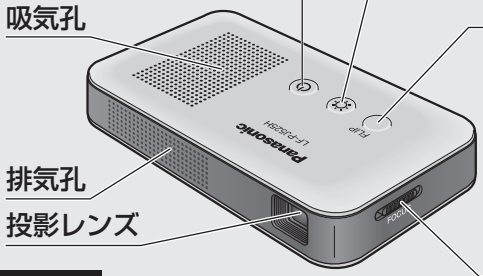
（点灯色変化）
オレンジ色点灯
↓（スタンバイ状態）
緑色点灯
↓（投影状態）
消灯
（待機 /PCスリープ状態）

明るさ調整ボタン

（白色点灯）
中（40ルーメン）
↓
低（25ルーメン）
↓
高（50ルーメン）

投影反転ボタン [FLIP]

（白色点灯）
正立正像
↓
上下左右反転
↓（180度回転）
左右反転



照明モード

長押し（約3秒）で照明モードになります（HDMI接続なしの場合）。明るさ調整ボタンを押す毎に40→25→10ルーメンの順で明るさが変わります。

フォーカスレバー [FOCUS]

レバーをスライドさせ投影画像のピントを合わせます。

お願い

- **本機使用時は吸気孔や排気孔をふさがないでください。**
  （吸気孔や排気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となる場合があります。）

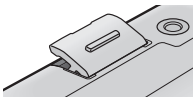
お知らせ

- 本機通電時は明るさ調整ボタン／投影反転ボタンは通常白色点灯します。
- 各ボタン（電源ボタン／明るさ調整ボタン／投影反転ボタン）の点灯表示で、本機の各種動作モードを表示します。（☞ 16ページ）
- 照明モードを終了するには、USBケーブルを取り外してください。

背面／裏面／左側面

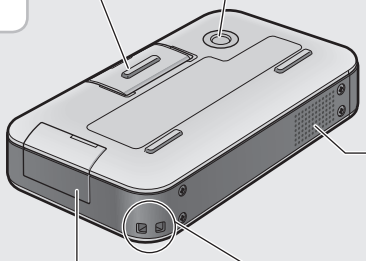
スタンド

スタンドを開くと約５度上向きに投影できます。



三脚取付部

必要に応じて付属の三脚用スペーサーをご使用ください。
（☞ 11 ページ）

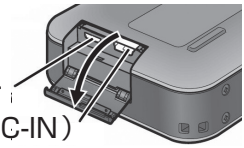


排気孔

ストラップ取付部

インターフェースカバー [I/F]

I/F カバーを開くと HDMI、USB（DC-IN）のコネクターがあります。



HDMI コネクター
USB コネクター（DC-IN）

お願い

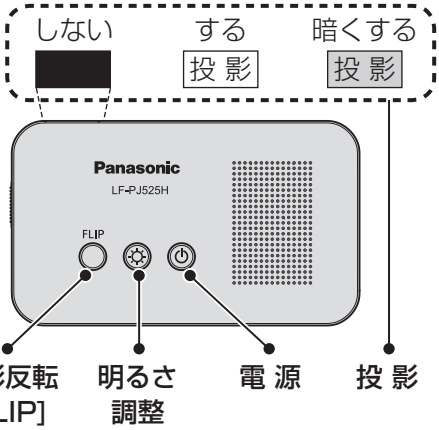
- **本機を三脚に取り付けて使用する場合**
  三脚によっては固定ネジが長いものがあります。ネジが長い場合は無理に締め付けないで、本機付属の三脚用スペーサーを間に入れてネジを締めてください。
  （無理に締めると故障や破損の原因となる場合があります。）

本機の基本動作

本機の動作と操作についての説明です。

各ボタンと動作について

本機の上面（天面）にあるボタンと
側面にあるレバーの説明です。



USBから給電されていないとき
※ 本機の電源は、USBからの給電に連動して自動的に 入り / 切り されます。

消 灯　消 灯　消 灯

USBから給電され
●映像信号がないとき（待機状態）

白色点灯　白色点灯　消 灯

●映像信号があるとき（スタンバイ状態）
接続機器からの取り外しができる状態

白色点灯　白色点灯　オレンジ色点灯

電源ボタンを押す
（ボタンを押すと投影されます。
もう一度押すと投影を中止し、
スタンバイ状態になります。）

押す

投影しているとき
（投影中の電源ボタンは緑色に
点灯します。）

白色点灯　白色点灯　**緑色点灯**　投 影

明るさ調整ボタンを押す
（ボタンを押すと明るさが変わります。）

押す

白色点灯　白色点灯　緑色点灯　投 影

投影の明るさ
中（はじめ）（40ルーメン）
低（25ルーメン）
高（50ルーメン）

	投影反転 [FLIP]	明るさ調整	電 源	投 影
投影反転ボタン [FLIP] を押す （ボタンを押すと投影画像の向きが変わります。）	押す			
		白色点灯	白色点灯	緑色点灯	投 影

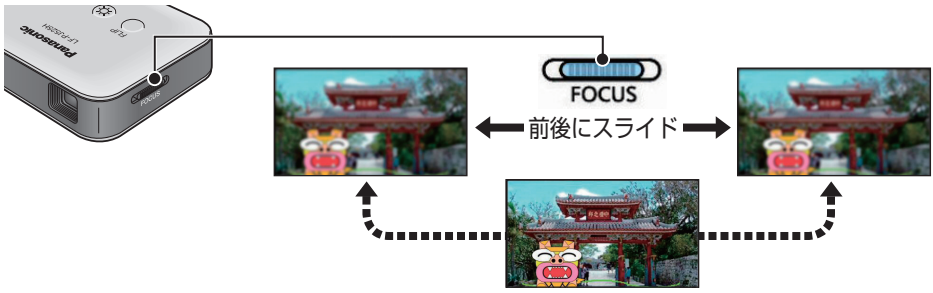
お願い
- 吸気孔と排気孔はふさがないでください。

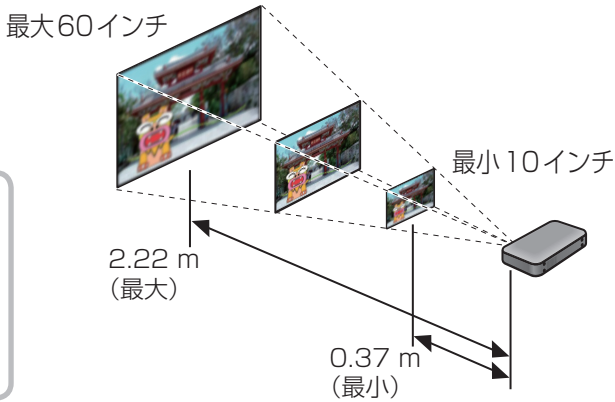
（天井などに投影するとき）

（半透過スクリーンに投影し、裏側から見るとき）

フォーカスレバー [FOCUS] を前後にスライドさせる
（投影画像のピントを合わせます。）

	白色点灯	白色点灯	緑色点灯	投 影





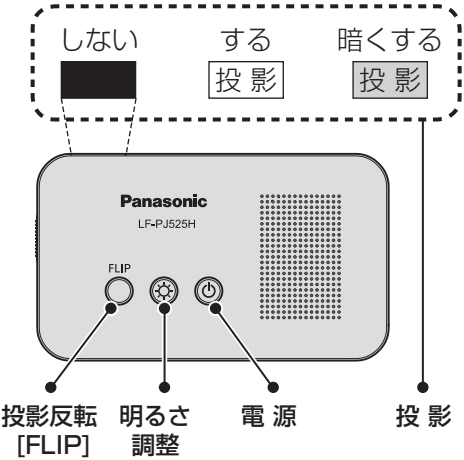
お知らせ
- 本機には台形補正機能はありません。
- 投影距離によってもピントの合う位置が変わります。

インジケーター機能について

本機の動作と表示についての説明です。

お知らせ

- 通常の動作状態に復帰するには、USBケーブルとHDMIケーブルを抜き差ししてください。



白色点灯　白色点灯　オレンジ色点灯

約5分後に

消 灯　消 灯　消 灯

スリープ状態
スタンバイ状態で約5分経過すると、スリープ状態（低消費電力化）に移行します。

（パソコンがスリープ状態になると本機も連動します。）電源ボタンを押すと、元のスタンバイ状態に復帰します。

白色点灯　白色点灯　**赤色点灯**

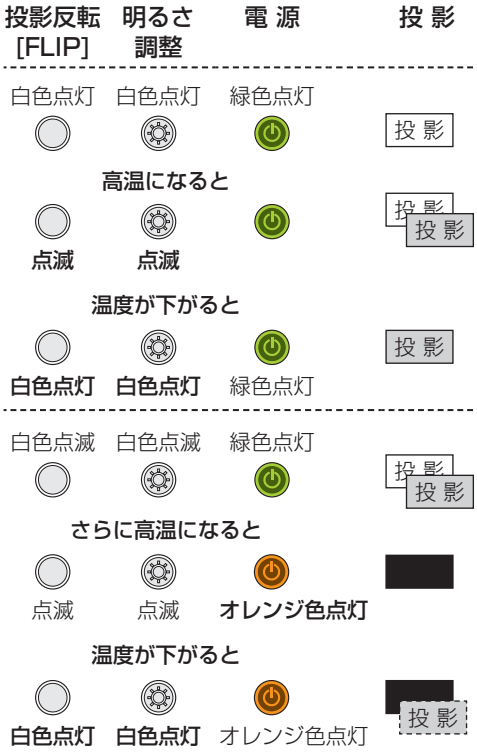
全て消灯し再起動

白色点灯　白色点灯　**オレンジ色点灯**

投 影

電源供給能力不足状態
USBバスパワーやUSBモバイル電源で供給能力不足の場合、電源ボタンが赤色点滅後、再起動しスタンバイ状態になります。

電源ボタンを押すと、自動的に明るさを下げて投影します。（この状態では前の明るさには設定できません。）



高温時の光量低下動作状態
内部が高温になったら、明るさ調整ボタンと投影反転ボタンが点滅し、自動的に明るさを下げます。（温度が下がるまで点滅します。）
温度が下がると点滅から点灯に変わります。（この状態では前の明るさには設定できません。）

高温保護（サーマルダウン）動作状態
内部温度がさらに上昇したら投影を停止、電源ボタンがオレンジ色点灯し、強制冷却を行います。
温度が下がると、明るさ調整ボタンと投影反転ボタンが点滅から点灯に変わります。
電源ボタンを押すと、投影停止前の明るさで投影します。（この状態では以前の明るさには設定できません。）

機器接続

本機を使用するにはHDMIに対応した出力機器へ接続してください。

お願い

- 本機付属のHDMI、USBケーブル以外は使用しないでください。（本機や接続機器の故障の原因となる場合があります。）
- 本機は接続機器のHDMI、USBコネクターに直接接続してください。（USBハブでの動作は保障できません。）
- 本機使用後（未使用時）は、HDMI、USBケーブルを取り外してください。（本機未使用時でも接続状態では電力を消費します。）
- 本機の電源は接続機器側のUSB電源または、USBモバイル電源（DC 5 V）にかぎります。他の電源には接続しないでください。（故障の原因となる場合があります。）

お知らせ

- 接続機器のUSBポートによっては、USB電源の供給能力が不足する場合があります。（外部USB電源を使用するか、明るさを下げてご使用ください。）
- 本機を認識する際に、パソコンなどの画面が暗くなったり、点滅する場合があります。
- 本機ではWindowsの一般的なUSB機器の取り外し操作は不要です。
- アダプターを使用される場合は、接続機器指定のアダプターをご使用ください。
- iPad、iPhoneでは1280×720の解像度になります。
- 無接点対応USBモバイル電源には対応していません。

本機とパソコン（PC）の接続

パソコン（PC）

パソコン

※ 本機には給電用USBケーブルとHDMIケーブルが付属しています。

接続後に音声が出なくなる場合があります。
音声を出すには機器側オーディオの出力設定変更が必要です。

HDMI

HDMI TYPE A ― HDMI TYPE D（Micro）

USB TYPE A ― USB Mini B

Charge

タブレットPC

接続機器からの電源供給が不足する場合

（推奨品）

USB
モバイル電源
（DC5 V　1.5 A）

（品番：QE-QL201）
40㎒以下でご使用ください。

DC-OUT

USB TYPE A

※ USBモバイル電源は付属していません。

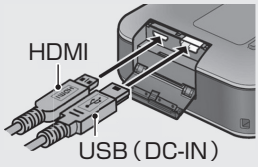
本　機

本機はオーディオの出力には対応していません。

HDMI機器とは下記の手順で接続してください。
（取り外しは逆の順序になります）

① 接続機器を起動する

② 本機にケーブルを接続する



③ パソコンまたはUSB電源に、USBケーブルを接続する

④ パソコンまたは接続機器にHDMIケーブルを接続する

以降は接続機器側の操作になります。

照明モードの操作

① USBケーブルのみ接続する
② 電源ボタンを長押し（約3秒）する
③ 明るさ調整ボタンを押して明るさを設定する
（3段階の切り替え設定）

● 照明モードを終了するには
電源ボタンを押して消灯し、USBケーブルを取り外してください。

本機とパソコン（PC）以外の接続

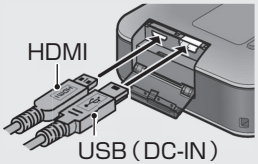
本　機

本機はオーディオの出力には対応していません。

HDMI機器とは下記の手順で接続してください。
（取り外しは逆の順序になります）

①接続機器を起動する

②本機にケーブルを接続する



③パソコンまたはUSB電源に、USBケーブルを接続する

④パソコンまたは接続機器にHDMIケーブルを接続する

以降は接続機器側の操作になります。

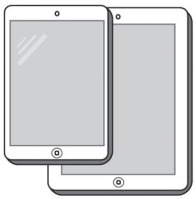
PC以外

AV機器

音声は機器側で出力してください。

機器によっては、外部USB電源と出力変換アダプターが必要です。

iPad



iPhone

音声はイヤホン端子からの出力となります。

iPad、iPhoneではAVアダプタ

DC-OUT

（推奨品）

USB
モバイル電源
（DC5 V　1.5 A）

（品番：QE-QL201）

40ルーメン以下でご使用ください。

照明モードの操作

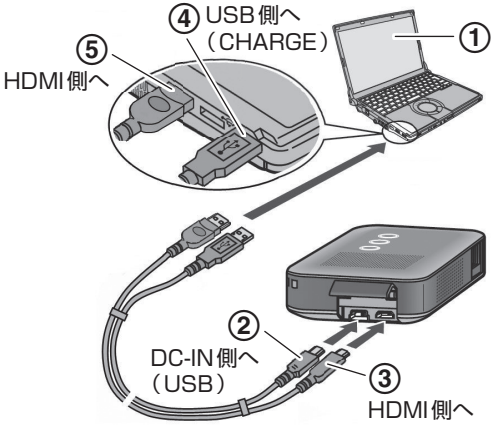
① USBケーブルのみ接続する
② 電源ボタンを長押し（約3秒）する
③ 明るさ調整ボタンを押して明るさを設定する
（3段階の切り替え設定）

● 照明モードを終了するには
電源ボタンを押して消灯し、USBケーブルを取り外してください。

パソコンで使用する

接続する

本機をパソコンに接続するときは、必ず付属のケーブルをご使用ください。
ケーブルの接続は確実に行ってください。
パソコンからの取り外しは投影を停止したあとで、取り付けと逆の順序で行ってください。



① パソコンを起動する

② 本機にケーブルのプラグ
③（小さいほう）を差し込む
- USB、HDMI両方を接続

④ パソコンにケーブルのプラグ
⑤（大きいほう）を差し込む
- USBを接続し次にHDMIを接続する

お願い
- 本機付属のHDMI、USBケーブル以外は使用しないでください。（本機やパソコン本体の故障の原因となる場合があります。）
- 本機は、パソコンのHDMI、USBコネクターに直接接続してください。（USBハブ経由での動作は保証できません。）
- USBケーブルを抜き差しすることで、本機の電源は自動的に入り／切りされます。
- 本機使用後（未使用時）はHDMI、USBケーブルを取り外してください。（本機未使用時でも電力を消費します。）

お知らせ
- パソコンに複数のUSBポートがある場合、ポートによってはUSB電源の供給能力に違いがある場合があります。
- 本機を使用される際は、本機単独での使用をお勧めします。
- パソコンが本機を認識する際に、パソコンの画面が暗くなったり、点滅する場合があります。
- 本機ではWindowsの一般的なUSB機器における“取り外し操作”は不要です。（本機は、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックしても取り外し機器としては表示されません。）

表示モードの設定

投影するにはパソコンに接続した後、インジケーターの表示にあわせて以下の操作を行ってください。

①

映像信号がない状態（**待機状態**）です。
ノートパソコンのディスプレイ表示モードを「複製」または「拡張」へ切り替えてください。
（「ファンクションキーでの表示画面の切り替え」（☞ 23ページ）または「表示モードの変更」（☞ 25ページ）をご参照ください。）

（外部ディスプレイの使用設定になっていれば、接続後②の状態になります）

②

映像信号が来るとオレンジ色点灯し**スタンバイ状態**になります。

③

「電源ボタンを押す」と緑色点灯に変わり**投影状態**になります。

お知らせ

- 本機は表示モードの切り替え設定時に、本機への出力がある場合はスタンバイ状態に、本機への出力がない場合は待機状態になります。

パソコンで使用される４つのディスプレイ表示モード	
① パソコンのみで表示 パソコンのモニター画面のみで表示するモードです。	**③ 拡張表示** パソコンのモニター画面と本機で連続して画面を表示するモードです。（マルチモニターモードです）
② 複製表示 パソコンのモニター画面と本機で同じ画面を表示するモードです。（一般的な使用モードです）	**④ プロジェクターのみで表示** パソコンのモニターを消して本機のみで画面を表示するモードです。

ファンクションキーでの表示画面の切り替え

ファンクションキーでの表示モード切り替えは、OSに依存せずに表示画面の切り替えが出来ます（ファンクションキー設定が必要です）。

Fn ＋（F1~F10：外部モニターマークの付いたF数字キー（F1 ～F10）に設定、メーカーやノートパソコンで異なります。（下記参照））を押す

- **表示モードを選んだ後［ENTER］を押すまで切り替わらない場合があります。**

Panasonic	NEC	TOSHIBA	SONY	SOTEC
F3	**F3**	**F5**	**F7**	**F3、F7**
EPSON	FUJITSU	DELL		Gateway
F8	**F10**	**F1**	**CRT/LCD F8**	**F3、F4**
HP	acer	lenovo		ASUS
F4	**F5**	**F7、F3、F10**		**F8**

上記表示例のマークおよびキー番号はノートパソコンにより異なる場合がありますので、ご使用のパソコンの説明書をお確かめください。

キー操作を繰り返すと、以下の順でディスプレイ表示モードが替わります。（OSやパソコンによっては、表示内容や順番が変わる場合がありますので事前にお確かめください。）

① 「コンピューターのみ」または「プロジェクターの切断」と表示され、パソコンのモニター画面のみに表示
② 「複製」：パソコンのモニター画面と本機に同じ画面を表示
③ 「拡張」：パソコンのモニター画面と本機に連続した画面を表示
④ 「プロジェクターのみ」：本機のみに画面を表示

- VGA端子とHDMI端子の同時使用は出来ません。

音声出力の設定

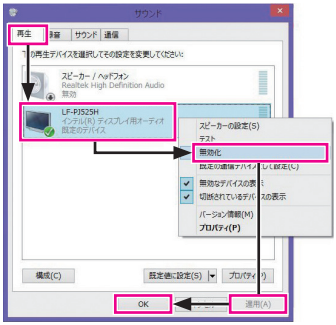
本機をHDMI端子に接続すると、パソコンのスピーカーから音声が出なくなる場合があります。
パソコンのスピーカーから音声を出すには以下の操作を行ってください。

1 **タスクバー上のスピーカーアイコンを右クリックする**
: Windows 7 / Windows 8のスピーカーアイコン
: Windows XPのスピーカーアイコン

2 **Windows 7 / Windows 8では［再生デバイス（P）］をWindows XPでは［オーディオプロパティの調整（A）］をクリックする**

3 **オーディオの設定をデフォルト（元の状態）設定にもどす**

Windows 7/Windows 8の場合



［再生］タブを選択
［LF-PJ525H］を右クリック
［無効化］をクリック

（［スピーカー］を右クリックし［有効化］をクリックしても同じ設定になります）

［適用］［OK］の順にクリックする

Windows XPの場合

［オーディオ］タブを選択
音の再生［既定のデバイス（D）］
右側の［V］をクリック
［Conexant HD Audio output］をクリック

（パソコンにより名称は異なりますので本機を接続しない状態で、お確かめください）

［適用］［OK］の順にクリックする

表示モードの変更

■4つの表示モードについて（2、3、4はパソコンで設定変更します）

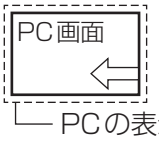
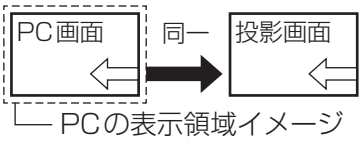
本機とパソコンは、付属のHDMI、USBケーブルで確実に接続してください。

お願い

- 本機接続時の表示モードを本機のみ（プロジェクターのみ）で使用される場合は、ノートパソコンのカバー（ディスプレイ）を閉じたり、スリープやスタンバイ状態にならない設定でご使用ください。

お知らせ

- 本機接続時の標準表示モードは、パソコンの設定により異なります。（パソコンの表示画面と同じものを投影するには「複製」に設定します。）用途に応じて表示モードを変更してください。
- 表示モード変更時にパソコンの画面や投影画面が暗くなったり、点滅する場合があります。
- パソコンによっては表示モード変更時に、表示画面の縦横比が変わる（図形などがゆがんで見える）場合があります。
- パソコンによっては設定変更後に再起動が必要な場合があります。

PC（パソコン）のみで表示	本機（プロジェクター）のみで表示
PC画面のみの表示です （通常の使用モードです）  **1**	PC画面を消して本機のみで表示します **4**
PC画面と同じ画面を本機でも表示します  **2**	パソコンの**表示領域を横に拡張**し、PC画面と本機で**連続して表示**します（本機の表示は拡張部分） **3**
複製モード（PCと本機で同一表示）	**拡張モード（PCと本機で別表示）**

Windows 7/Windows 8の場合

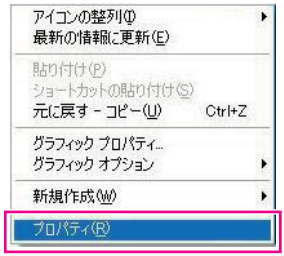
1 ＋ P を押す

2 **表示モードの選択画面で表示モードを選択（クリック）する**
［矢印］キーで選択箇所を移動させ［ENTER］キーを押しても投影モードを変更できます。

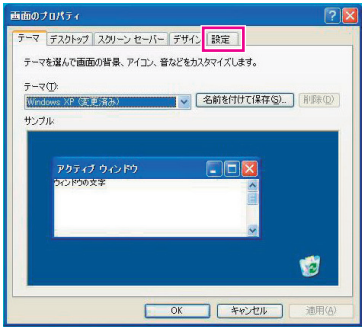
（Windows 8では配置が縦になります。）

Windows XPの場合

1 **デスクトップ上の何もない部分で右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックする**



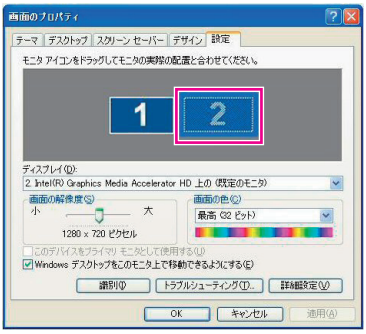
2 **［画面のプロパティ］画面が表示されたら、［設定］タブをクリックする**



使う

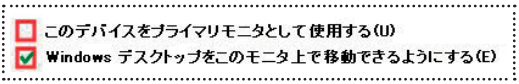
3 **モニター番号が複数表示されていることを確認し本機の番号をクリックする**

通常、モニター番号（1）はパソコンのディスプレイになります。
モニター番号（2）以降は追加されたモニター（本機など）を表します。



4 **モニターの表示選択チェックボックス（上下2つ）のチェックを変更する（モニターごとにチェック設定があります）**

モニターの切り替えは
モニター番号をクリック
します。



一般的な設定

	拡張モード	複製モード	本機（プロジェクター）のみ
モニター2 （本機の場合）	☐ なし ☑ 付ける	☐ なし ☐ 外す	☐ なし ☑ 付ける　① → ☑ 付ける ☑ 有り
モニター1 （PCの場合）	☑ 有り ☑ 有り	☑ 有り ☑ 有り	☑ 有り ☑ 有り　② → ☐ なし ☐ 外す

5 **設定を変更したら［適用（A）］をクリックし（設定が反映されます）、［OK］をクリックする**

使う

表示解像度の変更

本機の各表示モードで設定できる解像度は以下のようになります。

解像度 / 表示選択	720 × 480 (480p) SD	1280 × 720 (720p) HD	1980 × 1080 (1080i) FHD	640 × 480 VGA	800 × 600 SVGA	1024 × 768 XGA	1280 × 800 WXGA
拡　張	○	○	○	○	○	○	○
複　製	○	○	○	○	○	○	○
本機のみ	○	○	○	○	○	○	○

お知らせ

- パソコンの表示画面と同じものを投影するには「複製」に設定します。用途に応じて表示モードや解像度を変更してください。
- 表示モードや解像度変更時にパソコンの画面や投影画面が暗くなったり、点滅する場合があります。
- パソコンによっては表示モードや解像度変更時に、表示画面の縦横比が変わる（図形などがゆがんで見える）場合があります。
- パソコンによっては設定変更後に再起動が必要な場合があります。
- パソコンによっては本機の設定解像度が、上記と異なる場合があります。

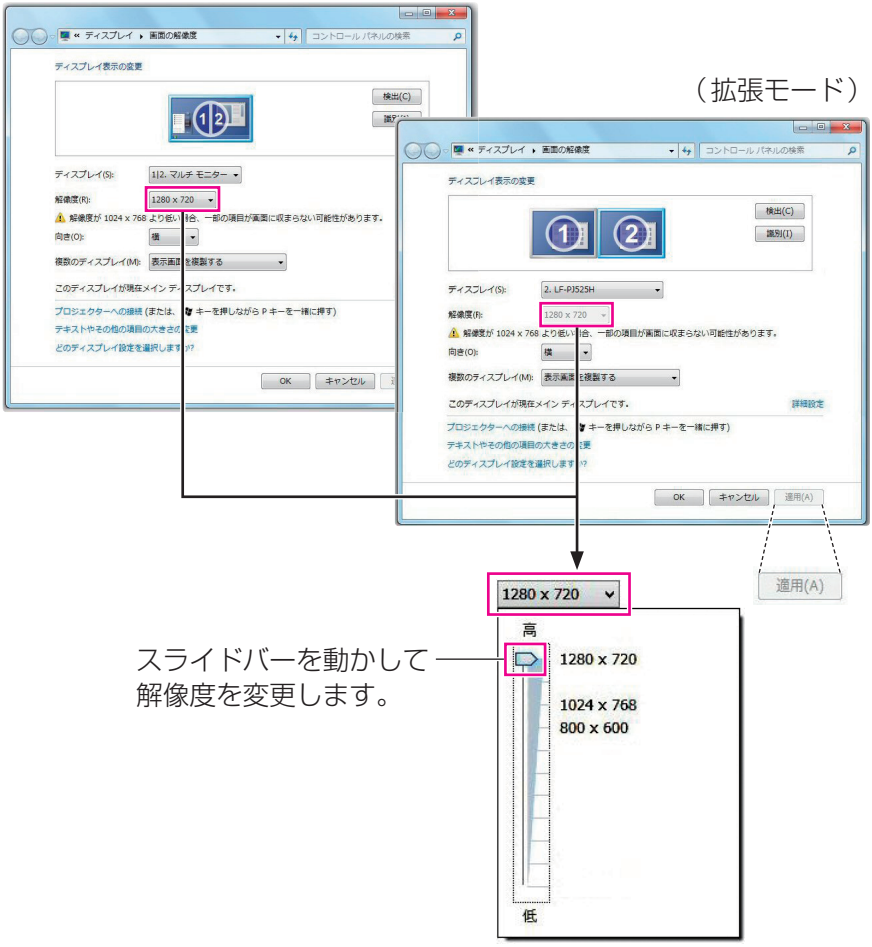
Windows 7/Windows 8の場合

1 **デスクトップ上の何もない部分で右クリックし、表示されたメニューから［画面の解像度］をクリックする**

2 設定変更画面が表示されたら、変更するモニター番号を選択し、[解像度(R)]をクリックして解像度を変更する

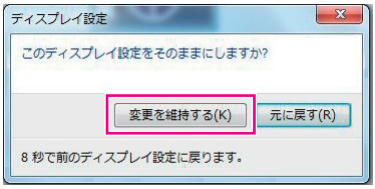
(複製モード)

(拡張モード)



スライドバーを動かして解像度を変更します。

3 [適用(A)]をクリックし、[ディスプレイ設定]画面が表示されたら、[設定を維持する(Y)]をクリックする

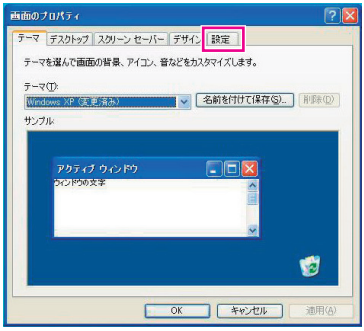


表示画面の解像度が本機のDLPの解像度よりも大きくなると、自動的に本機のDLPの解像度に合うように画面が変更されて表示されます。
このため、文字がにじんだりぼやけるようになりますが、故障ではありません。文字をにじんだりぼやけずに表示させたいときは、パソコンの表示解像度を変更してお試しください。

Windows XPの場合

1 デスクトップ上の何もない部分で右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックする

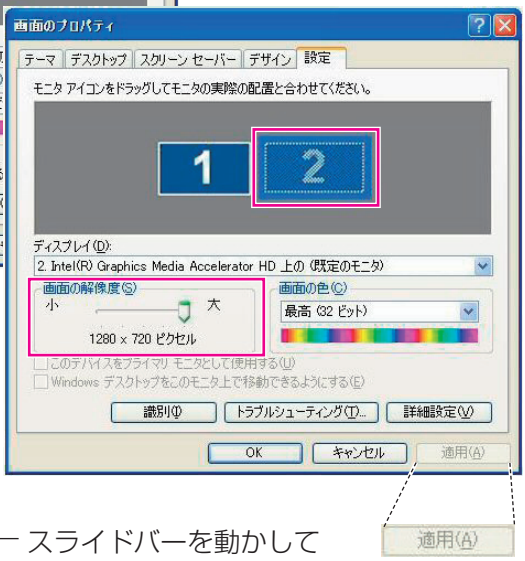
2 ［画面のプロパティ］画面が表示されたら、［設定］タブをクリックする



3 モニター番号をクリックし、ディスプレイ(D):の表示が変更対象のモニターであることを確認し、[画面の解像度(S)]のレバーで解像度を変更する

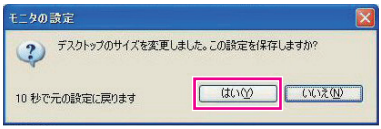
(複製モード)

(拡張モード)



スライドバーを動かして解像度を変更します。

4 [適用(A)]をクリックし、[モニタの設定]画面が表示されたら、[はい(Y)]をクリックする



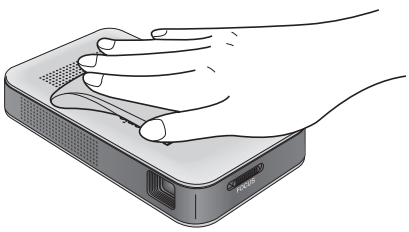
お手入れ

お願い

- 溶剤系クリーナー、静電防止スプレーや薬剤（ベンジン、シンナー、アルコールなど）は使わないでください。変形、変色の原因になります。

■本体表面が汚れていたら

柔らかい布でふいてください。



- 本体に汚れが付着した場合は、水または水で薄めた台所用中性洗剤に浸した、柔らかい布をかたく絞って軽く汚れをふき取ってください。
- 中性の台所用洗剤以外（弱アルカリ性洗剤やアルコールなど）を使用すると、塗装面に影響を与えることがあります。

■レンズが汚れていたら

- 投影レンズのお手入れは、カメラのレンズ用ブロワー（市販品）でお手入れしてください。
- 投影レンズには直接触れないでください。
  投影レンズを傷つけたり、レンズ駆動に影響を与えることがあります。

故障かな!?と思ったら

まず、次の表に従って確認してください。それでも直らないときは、「保証とアフターサービス」(☞ 43ページ)をご参照ください。

こんなときには	ここをお調べください
1 本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	**ケーブルが正しく接続されていますか？** 正しく接続されているかご確認ください。 ☞ 19～21ページ
	ケーブルのピンが曲がったり、折れたりしていませんか？ お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにご相談ください。 ☞ 裏表紙
	待機状態になっていませんか？ ファンクションキーでの表示画面の切り替え操作を行ってください。 ☞ 23ページ
	スリープ状態になっていませんか？ 電源ボタンを押してください。 ☞ 12、16ページ
	使用 OS が合っていますか？ Windows Vista、Windows RT では動作保証できません。 ☞ 2ページ
	照明モード(白い画面)になっていませんか？ 照明モードを解除するには、USB ケーブルを抜き差ししてください。 ☞ 19ページ

(次ページに続きます。)

	こんなときには	ここをお調べください
1	本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	外部電源を使用していませんか？ ●充電容量が低下していないかお確かめください（容量が低下していたら充電してください）。 ●外部電源の電源 SWが入っているか、お確かめください。 ●外部電源の電流容量をお確かめください。本機を使用するには、1 A以上（推奨 1.5 A以上）の電流容量が必要です。
2	本機を接続したら音が出なくなった	音声は出力機器側のスピーカーまたはイヤホンに設定・接続されていますか？ 本機は音声出力には対応していません。 音声は出力機器側で設定してください。 • パソコンの場合 音声出力の設定を変更してください。 ☞ 19ページ • iPhone/iPadの場合 iPhoneのイヤホン端子に外部スピーカーなどを接続してください ☞ 20ページ

こんなときには	ここをお調べください
3 画面が投影されない	**電源ボタンがオレンジ色点灯になっていませんか？** 電源ボタンがオレンジ色点灯の場合、スタンバイ状態です。電源ボタンを押して緑色点灯にし、投影モードにしてください。 ☞ 14ページ
	電源ボタンがオレンジ色点灯、明るさ調整ボタンと投影反転ボタンが白色に点滅していませんか？ 高温保護（サーマルダウン）動作状態になっています。 ☞ 17ページ
	電源ボタンが赤色に点灯したあと、再起動がかかりませんでしたか？ バスパワー供給不足状態になっています。 ☞ 16ページ
	iPhone / iPadの使用機種は合っていますか？ iPhone 4 / 第1世代のiPadでは動画や静止画像の投影のみ可能です。 ☞ 2ページ
4 明るさ調整で明るくならない	**明るさ調整ボタンと投影反転ボタンが白色に点滅していませんか？** 高温時の光量低下動作状態になっています。 ☞ 17ページ
5 本機が温かい	**故障ではありません。** 本機が異常に高温になる場合は、HDMI、USBケーブルを外し、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにご相談ください。 ☞ 裏表紙

こんな疑問や質問があったら

本機についての疑問は、「故障かな!?と思ったら」を先にお読みください。
（☞ 33 ～ 35ページ）

Q 壁紙しか投影されないのですが？

A パソコンの表示モードが、「拡張」モードになっています。「複製」モードに変更してご使用ください。
☞ 23、25ページ

Q 投影画像のピントが合わないのですが？

A 投影距離を確認し（0.37 ～ 2.22 m）、フォーカスレバーをスライドさせてピントを合わせてください。
☞ 15ページ

Q スタンバイ状態でしばらく放置していたら、すべてのボタンが消えたのですが？

A スリープ状態になっています。
電源ボタンを押すことでスタンバイ状態に復帰します。
☞ 12、16ページ

Q 投影中に明るさが落ちたら？

A 本機の内部温度が高温になり、光量低下動作状態になっています。
本機からUSBケーブルを抜き、本機の内部温度が下がったらUSBケーブルを接続してください。
☞ 17ページ

Q 電源ボタンが赤色点灯した後、再起動したら？

A パソコンのUSBポートからの電源供給能力が不足しています。常時給電機能付きのUSBポートに接続してください。
常時給電機能付きのUSBポートに接続し直さずに電源ボタンを押すと低輝度で投影しますが、それでも電源ボタンが赤色に点灯した後、再起動する場合は使用できません。
☞ 16ページ

Q 明るさ調整が2段階（中／低）にしか切り替わらない。

A パソコンのUSBポートからの電源供給能力が不足しています。常時給電機能付きのUSBポートに接続してください。
常時給電機能付きのUSBポートに接続し直さずに明るさ調整を「高」に切り替えると、一度電源ボタンが消え、その後オレンジ色に点灯します。この状態で電源ボタンを押して電源をONにすると、明るさ調整は2段階（中／低）にしか切り替わりません。

Q 本機をパソコンに接続したら、パソコンの画面が点滅するのですが？

A パソコンが本機を認識する際に、パソコンの画面が暗くなったり、点滅したりする場合がありますが故障ではありません。

Q 投影画像が台形になるのですが？

A 本機は、台形補正機能を搭載していません。三脚などを使用して、設置高さや投影角度を調整してください。

Q 動画の再生映像がスムーズな動きにならないのですが？

A パソコンの性能によっては、再生動画のビットレートが大きいと画像の再生がスムーズに行えない場合があります。

Q 再起動したら、表示モードが変わったのですが？

A 故障ではありません。
表示モードを再設定してください。

Q ノートパソコンのカバー（ディスプレイ）を開閉したら、表示モードが変わったのですが？	**A** 故障ではありません。 表示モードを再設定してください。
Q スタンバイ（休止）状態から復帰したら、表示モードが変わったのですが？	**A** 故障ではありません。 表示モードを再設定してください。
Q 画像が投影されなくなったのですが？	**A** USBケーブルを抜き挿しして、本機を再起動させてください。
Q VGA端子に外部ディスプレイ、HDMI端子に本機を接続したら片方が表示されないのですが？	**A** 故障ではありません。 VGA端子とHDMI端子から同時に出力は出来ません。優先度はパソコンの仕様により異なります。（同時に出力するには、それぞれに個別にGPU等が必要です。）
Q 照明モードで明るさを最小にすると薄く色が変わるのですが？	**A** 故障ではありません。 照明モードでは、色調は調整されていませんので、多少色が付いたように見える場合があります。
Q パソコン接続に比べるとiPhone/iPad接続時は画面が小さいのですが？	**A** 故障ではありません。 接続機器や使用ソフトによっては、自動的にサイズを変更して映像が出力されます。その際有効表示領域以外は黒として表示されています。

用語解説／補足説明

BDMV	Blu-ray Disc Associationが策定したBD仕様のひとつです。映画など、主に家庭用ビデオソフトをBlu-ray Discに記録する仕様で、再生地域ごとの著作権保護機能があります。
CPU	Central Processing Unit の略で、中央演算処理装置のことです。
CEC	Consumer Electronics Controlの略でHDMIで規格化されている機器制御信号と制御に関する仕様で、ビエラリンク（VIERA Link）などの、AV機器同士をHDMIで接続し一つのリモコン等で全ての機器を制御可能とする機能のベースとなっている仕様です。
DLP	DLPとは、デジタルミラーデバイス（DMD）を用いた映像表示システムのことでDigital Light Processingの略です。DLPはTexas Instruments Incorporatedの登録商標です。
DVD-Video	DVDフォーラムによって規格化された、DVD仕様のひとつです。映画など、主に家庭用ビデオソフトをDVDに記録したもので、再生地域ごとの著作権保護機能があります。
DXVA	DirectX Video Accelerationの略でDirectXの拡張機能のひとつで、ビデオ･コーデック（圧縮･伸張など）を、より速く処理するために、ハードウェアアクセラレーションを使用するインターフェースです。
GPU	Graphics Processing Unitの略で、画像処理を行う装置のことです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略で映像再生機器からディスプレイなどの表示機器に、デジタル信号を送受信する経路を暗号化する著作権保護技術のひとつです。

HDMI	High-Definition Multimedia Interfaceの略で、映像・音声をデジタル信号で伝送する、HDCPなどの著作権保護機能を持った通信インターフェースの規格です。
OpenGL	Open Graphics Libraryの略で、二次元と三次元のグラフィックスが両方扱える、アプリケーションプログラミングインターフェースです。
USB	Universal Serial Busの略で、各種の周辺機器とパソコンを接続するための業界標準規格です。
USB2.0	USB2.0は、USB-IF（USB Implementers Forum）によって制定された、USB1.0/1.1 上位互換の高速なUSBインターフェースです。データ転送は最大でUSB1.1の約40倍となります。
USB3.0	USB3.0は、USB-IF（USB Implementers Forum）によって制定された、USB2.0 上位互換の高速なUSBインターフェースで、データ転送は最大でUSB2.0の約10倍となり、電源供給能力も強化されています。
USBバスパワー	パソコンのUSB ポートから供給される電源を使用して、周辺機器を動作させる方式のことです。

アスペクト比	表示画面の幅と高さの数値比率です。 画面アスペクト比とも呼びます。
解像度 （画面解像度 / 表示解像度）	画面を構成する総画素数を、解像度（画面解像度、 表示解像度）と呼び、水平方向と垂直方向の画素数で 表します。
拡張 / 拡張表示 / 拡張モード	パソコンの画面表示領域を拡張し、パソコンのモニター と２台目のディスプレイ（本機）に分けて画面を分割表 示させる機能です。
コントラスト比	表示画面の白を表示したときの輝度と、黒を表示した ときの輝度の比率です。
複製 / 複製表示 / 複製モード	パソコンのモニター表示画面と同じ画面を、２台目の ディスプレイ（本機）に表示させる機能です。
ルーメン （単位：lm）/ ANSIルーメン	プロジェクターの明るさを示す指標です。 ANSIルーメンは、米国国家規格協会が定めた条件に 基づいて算出される、プロジェクターの光源の発する 光束の単位です。

仕様

使用環境		温度 5 ℃～35 ℃　湿度 20 %～80 %（結露なきこと）
保存環境		温度 -10 ℃～50 ℃　湿度 20 %～80 %（結露なきこと）
本体外形寸法		102（幅）× 60（奥行き）× 22（高さ）mm
本体質量		約 110 g
電源		USBバスパワー（DC 5V）
消費電力		9 W（50ルーメン時）/1.5 W（スタンバイ時）
対応インターフェース		HDMI（CEC、オーディオ出力には対応していません）
付属ケーブル	HDMI	全長：80 cm（Type A/Type D）質量：30 g
	USB（給電用）	全長：80 cm（Type A/Mini B）　質量：28 g
DLPチップ		素子サイズ：0.3インチ　表示方式：DLP®方式　チップ1枚
アスペクト比		16：9
解像度（DLP）		WVGA（854×480）
明るさ		三段階切換 高（50ルーメン）/中（40ルーメン）/低（25ルーメン）
コントラスト比		1000：1
投影角度		オフセット 100 %
投影サイズ / 投影距離		10 ～ 60インチ ／ 0.37 ～ 2.22 m
設置形態		水平使用、スタンド使用、三脚使用
対応解像度		720×480（480 p-SD）　640×480（VGA） 1280×720（720 p-HD）　800×600（SVGA） 1920×1080（1080 i-FHD）　1024×768（XGA） 1280×800（WXGA）

※ 製品の定格およびデザインは、改善などのため、予告なく変更する場合があります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理 などは…

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名 電話 （　　）　　－ お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「故障かな!? と思ったら」でご確認のあと、直らないときは、まずUSB、HDMIケーブルを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	**小型ビューアー**
●品　番	**LF-PJ525H**
●製造番号	**（保証書や本体裏面の銘板に記載）**
●故障の状況	**できるだけ具体的に**

●保証期間中は、保証書の規定に従って修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　**診断・修理・調整・点検などの費用**

部品代　**部品および補助材料代**

※ 補修用性能部品の保有期間　**5年**

当社は、小型ビューアーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後７年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください
ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使い方・お手入れなどのご相談は…

パナソニック P3カスタマーサポートセンター

Panasonic Peripheral Products

電話 0570-550-633
（※ナビダイヤル）
FAX 03-3595-7653
10:00～12:00、12:45～17:00
（※土・日・祝日は除く）

最新の情報をインターネットでご覧ください
http://panasonic.jp/support/p3/

・一部の電話回線ではナビダイヤルをご利用いただけない場合がございます。ナビダイヤルについてはNTTコミュニケーションズ株式会社にお問い合わせください。

●修理に関するご相談は……

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 0120-878-554（パナは イイヨ）
携帯・PHSOK
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

•上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

（2013年3月現在）

• 有料で宅配便による引き取り・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客さまの個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭川	☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
帯広	☎(0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
函館	☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区		
青森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
秋田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区		
栃木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区		
石川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区		
滋賀	☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区		
鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区		
香川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区		
福岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊本	☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区		
沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

1112

さくいん

— アルファベット順 —

B

BDMV 39

C

CEC 39
CPU 39

D

DLP ..... 39、42
DVD-Video 39
DXVA 39

F

FLIP（投影反転ボタン） ..... 12、15
FOCUS（フォーカスレバー）
..... 12、15

G

GPU 39

H

HDCP 39
HDMI 40
HDMIケーブル ..... 9、19 - 21

I

I/F（インターフェースカバー） ... 13

O

OpenGL 40

U

USB 40
USB2.0 40
USB3.0 40
USBケーブル ..... 9、19 - 21
USBコネクター 13
USBバスパワー 40

— 五十音順 —

あ

明るさ調整ボタン..... 12、14
アスペクト比 ..... 41、42
アフターサービス..... 43
インジケーター機能..... 16
インターフェースカバー［I/F］
..... 13
お手入れ..... 32

か

解像度..... 28、41、42
拡張モード..... 25、41
吸気孔..... 12
高温保護（サーマルダウン）
動作状態..... 17
光量低下動作状態..... 17
コントラスト比 ..... 41、42

さ

三脚取付部 13
三脚用スペーサー..... 9、11
仕様..... 42
推奨品..... 9
スタンド..... 13
スタンバイ状態 14
ストラップ取付部..... 13
スリープ状態 ..... 12、16
接続..... 18 - 21

た

対応パソコン環境..... 2
電源供給能力不足状態..... 16
電源ボタン ..... 12、14
投影サイズ..... 11
投影反転ボタン［FLIP］.... 12、15
投影モード..... 15
投影レンズ..... 12

は

排気孔..... 12、13
表示モード..... 25
フォーカスレバー［FOCUS］
..... 12、15
複製モード..... 25、41

ら

ルーメン..... 41

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

携帯

●修理に関するご相談は……

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯PHS OK 0120-878-554（パナは イイヨ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

• 有料で宅配便による引き取り・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

●この製品は日本国内用です。日本国外での使用に対するサービスは致しかねます。

●This product is designed for use in Japan. Panasonic does not take any service of this product using in other countries.

●此产品僅供日本国内使用。在日本国外使用时将不提供售后服务。

パナソニック株式会社

製造元： パナソニック プレシジョンデバイス株式会社

〒865-0193　熊本県玉名郡和水町（なごみまち）高野 1080

© Panasonic Precision Devices Co., Ltd. 2013

JDQP0251ZA
S0413M0

Panasonic

小型ビューアー LF-PJ525H 取扱説明書